

図書館だより

目 次

■読書について	1
■図書館等職員著作権実務講習会に参加して	2
■学生選書モニターに参加して	3
 ■学生図選書モニター図書リスト（～2003年11月30日配架分）	4
■図書館での資料の探し方	6
■平成16年度外国雑誌（購入分）中止及び新規タイトルリスト	8

読書について

総合図書館委員 谷田信一

「本を読む」とは、どういうことだろうか。

19世紀のドイツの哲学者ショーベンハウアーは、「読書とは、自分の頭ではなく他人の頭で考えることである」と言っている。この言葉には、本にたよって自分の頭で考えようとしている人々への皮肉も込められているのは確かだが、同時に、読書の利点をもよく示唆する言葉にもなっているといえよう。すなわち、「本を読む」とは、古今東西の他人の頭で思考された内容をいまこの時に自分の思考に取り入れることができる、というトクな営為なのである。本は、パソコンで例えれば、いわば外部記憶装置（フロッピー・ディスク、CD、DVDなど）にあたるのであって、その中の情報は、必要に応じてパソコン本体のメモリ（本の場合には読者の頭）に取り入れられて活用されることができるわけである。

ひるがえって考えれば、そもそも、文明の発達は文字と切り離しがたいものがある。世界の諸民族のうちで自力で文字を持つようになった民族はそれほど多くないが、古代の世界四大文明と呼ばれた文明は、いずれも文字を持っていたのである。もちろん口頭でもさまざま知識や伝承を伝えることも可能ではあるが、その正確さ・持続性・分量において口伝では大きな限界があることは否めない。文字の登場は、その限界を打ち破ったのである。そして、15世紀に中頃にはドイツのグーテンベルクが活版印刷術を発明し、それがアルファベットという表音文字を用いるヨーロッパ言語によく適合したこともあり、その後出版業が盛んとなり、まず上層教養階級の読書量が急速に増大していき、さらに、何百年かを経過するなかでしだいに、初等教育の普及とともに相俟って、読書という習慣は大衆にも少しずつ浸透していったのであった。

だが、読書の習慣が広まったことは、単に人々の持つ知識や情報量を増大させたということを意味するにはとどまらないであろう。アメリカの社会学者ニール・ポストマンは（フランスの歴史学者アリエスによる研究などをも考慮に入れつつ）『子どもはもういない』という著書の中で、活版印刷術の登場以来しだいに読み書き能力を修得していることが大人として認められるための条件とみなされるようになり、また、性や暴力などの大人の世界の秘密はだんだん少年から隠されるようになり、読み書きを習っている途中の少年たちは「子ども」として特殊な位置づけを与えられるようになった、と述べている。ポストマンのこの論考はかなりの説得力を持っていると思われるが、だとすれば、読書の習慣の広がりは人生サイクルの理解にさえも大きな変化をもたらしたことになる。読書の習慣の拡大によって、「大人」と「子ども」との区別が厳然たるものとなつたのである。

たしかにポストマンも主張しているように、現代ではテレビのような視聴覚的メディアの発達などによって、読書の果たす役割は以前よりは減退したかもしれない。そして、視聴覚メディアには、本にはない直示性・具体性・即時性という長所があることは、事実であろう。しかし、読書、つまり本を読むという作業は、直示的ではない文字の配列を追い見つめながら自分の頭のなかで具体的なものを構成していくかねばならないという、読者の能動的参加をも不可欠的に要求する作業（いわば著者と読者との共同作業）なのであり、この点で、テレビなどの視聴覚メディアとは大きく異なる。要するに、読書は読者の努力をも要求するのである。だがその代わり、読書は、そのぶんだけ頭脳を鍛えてくれるとともに、根気や辛抱強さといった有徳的性格の形成にも寄与すると思われるのである。

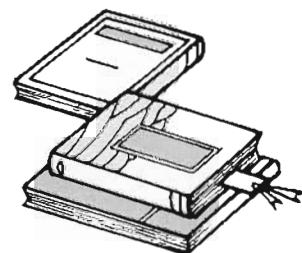
しかし、なるほど共同作業であるとは言っても、読書ではやはり読者は基本的に著者の論述に沿って思考を進めいくことになる。それは、自分の頭で考えることのための助走としては非常に大切ではあるが、それにとどまっているだけでは、まだ自分で考えることにはならない。冒頭で掲げたショーベンハウナーの言葉は、本を読むだけで自分の頭では考えない人々を鋭く批判した言葉である。本を読むことと自分で考えることとは、車の両輪のように、両方を並行してバランスよく行なっていかねばならないであろう。孔子の『論語』からの名言を引用して結論を述べさせていただくとすると、けつきよく、「学びて思わざれば則ち罔（くら）く、思いて学ばざれば則ち殆（あやう）し」なのである。

8月27日から3日間にわたって実施された「図書館等職員著作権実務講習会」に参加しました。著作権法の基本から、図書館での実務でどのように著作権法を遵守していくかという問題について学んできました。本学図書館で日常行われていることでも著作権を侵害していると思われるような事例もあり（図書館内のコピー機の利用など）、今後は充分注意していかなければなりません。著作権について簡単に紹介しますので、参考にしてください。

最近、知的財産権という言葉をよく耳にするようになりました。これは、知的な創作活動によって何かを創り出した人に対して、「他人に無断で利用されない」権利を付与するものです。知的財産権は大きく二つに分かれています。ひとつは特許権、商標権といった工業所有権。そして、もうひとつが文化的な創作物を保護の対象とする著作権で、これは著作権法という法律で保護されています。文化的な創作物とは、文芸、学術、美術、音楽といった人間の思想、感情を創作的に表現したもののことです、著作物といいます。またそれを創作した人が著作者です。著作権法では、著作者に無断で著作物を「形のある物に複製する」（コピーする）ことを禁じています。手書き、印刷、写真撮影、複写、録音、録画、パソコンのハードディスクやサーバーへの蓄積など、どのような方法であっても著作権の保護期間中（例外を除いて、著作者の死後50年間）は複製できません。

しかし、例外規定により「例外的な無断利用」が認められる場合もあります。図書館での複製がそれに当たります。著作権法第31条により、以下の条件で図書館は利用者に複製物を提供することが認められています。「調査・研究を行う利用者の求めに応じて、既に公表されている著作物の一部分（既に次号が発行されている雑誌の中の著作物については全部でもよい）を一人につき一部提供する場合」がそれです。著作物の一部分とは、その著作物の半分未満をさしますので頁数が少ないとあっても全部をコピーすることはできません。また、その図書館が所蔵している資料であることが前提となっていますので、他の図書館で借りた資料や個人の資料、ましてやノートのコピーはできません。このことをふまえて、図書館のコピー機を利用するようしてください。

簡単に著作権について紹介しましたが、情報化社会の急速な発達とともに知的財産権保護をめぐる問題は多様化しています。図書館の図書や雑誌に限らず、デジタル化された情報やインターネット上の情報にも著作権は存在します。また、インターネット上には著作権を侵害していると思われるページなどもありますのでそれらの情報の取り扱いには充分注意が必要です。著作権法について詳しく知りたい人は文化庁のホームページ (<http://www.bunka.go.jp>) で確認してください。



図書館のコピー機は、非営利の調査・研究を目的とする場合は

- ① 図書館所蔵の資料のみ、一人につき一部複写できる。
- ② 図書の半分未満複写できる。
- ③ 次号が発行された雑誌の個々の著作物（論文など）は全て複写できる。

学生選書モニターに参加して

人間環境学部 文化環境学科
01P059 窪井 裕美子

この度、大阪産業大学総合図書館の選書モニターに参加させて頂いて、堂島にあるジュンク堂へ行きました。大学に費用を出して頂き、学生が好きな本を何冊でも選べるという機会はなかなか無いもので、私は昨年からずっと参加してみたくて、今回の募集が開始した時すぐに応募しました。

特別この本が欲しいというものはありませんでしたが、人間環境学部の一期生としては、卒業論文に少しでも役立つ書物をと思い、選書をする際の一つの基準として選びました。また、私はよくレポート作成時など、調べ物をする際に図書館を利用してきたので、そういう時に役立ちそうな本を自分のためだけではなく、これから図書館を利用する後輩のためにも選んだつもりです。

しかし、様々な分野の本を選ぶつもりが、やはり自分好みで自分のためのものになってしまったように思います。私が選んだ本の多くは心身医療などの医学的なものです。その中でどれだけ役立たせることが出来るかは分かりませんが、図書館を利用する学生がさらに増えくれたらいいなと思います。

経営学部 流通学科
鄭 玲 霜

今回のモニタへ参加した動機から話したいと思います。私は院生になってから、一つ大きな変化としては、図書館をよく行くようになったことです。学部での勉強の不足を補うため、それに来年卒業論文の下準備をするためです。学校の図書館は各分野の本と資料を充実しているが、貸出中であったり、自分にふさわしい本がなかつたりすることが時々あります。恐らく私と同感する人がたくさんいるでしょう。だから、友達から参加への申し込みの誘いが来たときに、大変うれしく思いました。

学生の代表の一員として自分の中にいくつかの基準で本を選びました。所属の学部の勉強や研究に当たる本を選ぶこと。今すぐに使う本、将来的に必要となってくる本を選びました。それに、自分の専門以外にも幅広く勉強していきたいので、他の分野の入門本を選びました。最後に、できるだけ最新の本を選ぶことにしました。時代の高速進化に対して、図書館の蔵書はどうしても古いイメージを感じてしまうからです。

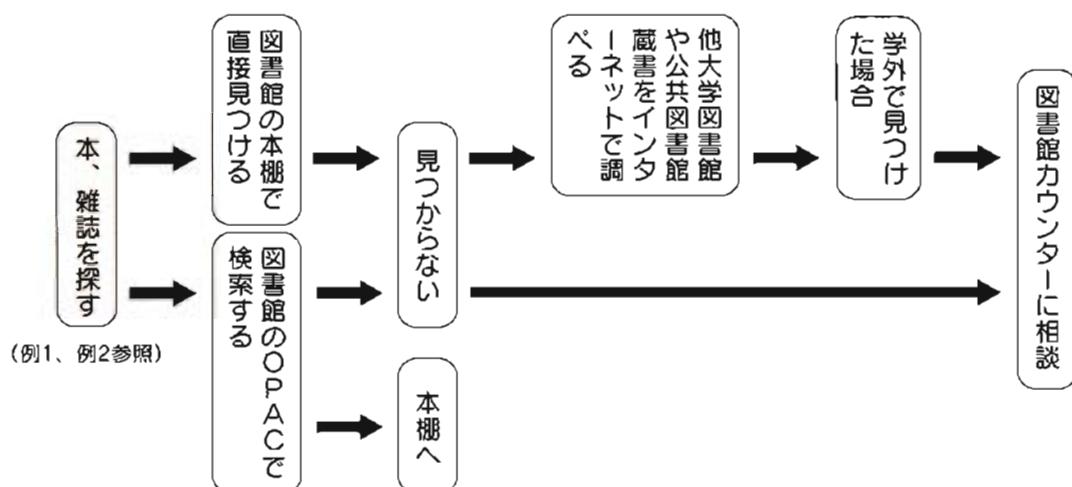
今回一つ驚いたことがあります。最近の本屋さんには中国への進出のマニュアルや中国の企業に関する本がたくさん増えてきたことです。日本人の方の視点から自分の国を知るのはとても面白いです。今後の卒論のための情報収集の役にも立つと思っています。

以上は経営、流通学を研究し、しかも留学生の一員として今回のモニタへの参加から得た感想です。残念ながら、今回留学生の参加者がとても少なかったです。来年はまだチャンスがあると思いますので、留学生の方々はぜひ参加していただきたいと思います。自分の手で自分にふさわしい本を選びましょう。

図書館での資料の探し方

図書館の使い方シリーズ No.10

図書館には、38万冊以上の図書、2483タイトルの雑誌があります。
このような、多くの図書館資料をより良く有効に利用するには、まず求めている資料の所在を知ることです。
それら資料をどのように探していくべきか、基本的な探し方を紹介しましょう。



以上のような流れで資料を探してみて下さい

分からぬ事や資料が見つからない時は、カウンターへ来て相談して下さい

例1 本を探す

「流通システムの構図～生活者満足へのパラダイムシフト～」

(書名)

増田 大三 著 中央経済社 2000・9

(著者名)

(出版社)

(出版年)

という本を、手にしたい場合。

この本に対して自分の持っている情報は、どれほどありますか？

(Ⅰ) 書名または著者名がきちんと、分かっている。

(Ⅲ) 本の情報は何もない。

(Ⅱ) 書名や著者名があやふやにしか分からない。

特定の本を探しているわけではないが、
流通関係の本が欲しい。

多分「システム」や「構図」という単語が書名に入っていた。

著者名が「増田」までしか分らない。

と、いう程度の情報。

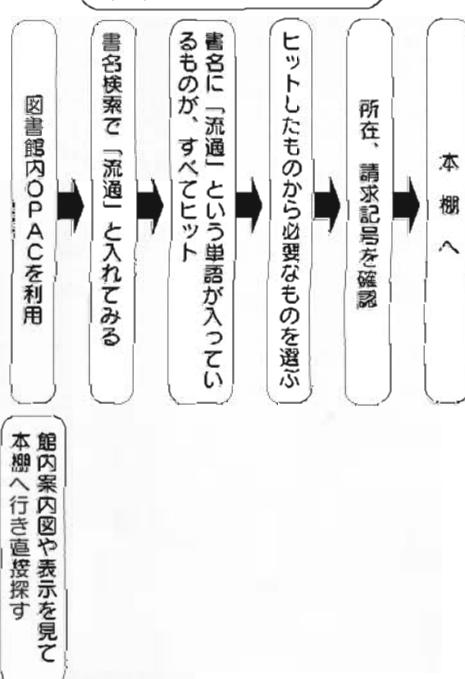
(Ⅰ) の場合の探し方



(Ⅱ) の場合の探し方



(Ⅲ) の場合の探し方



図書館での資料の探し方

例2 雑誌を探す

「環境再生」のための総合的な政策研究をめざして

(論題)

環境と公害 vol. 31 no. 1 summer2001

(雑誌名)

(巻号)

(出版年)

寺西 俊一

(著者名)

岩波書店

(出版社)

という雑誌論文を、手にしたい場合。

この論文に対して自分の持っている情報は、どれほどありますか？

(Ⅰ) 雑誌名、巻号、論題が分かっている。

(Ⅱ) 論題または著者名のみ分かっている。

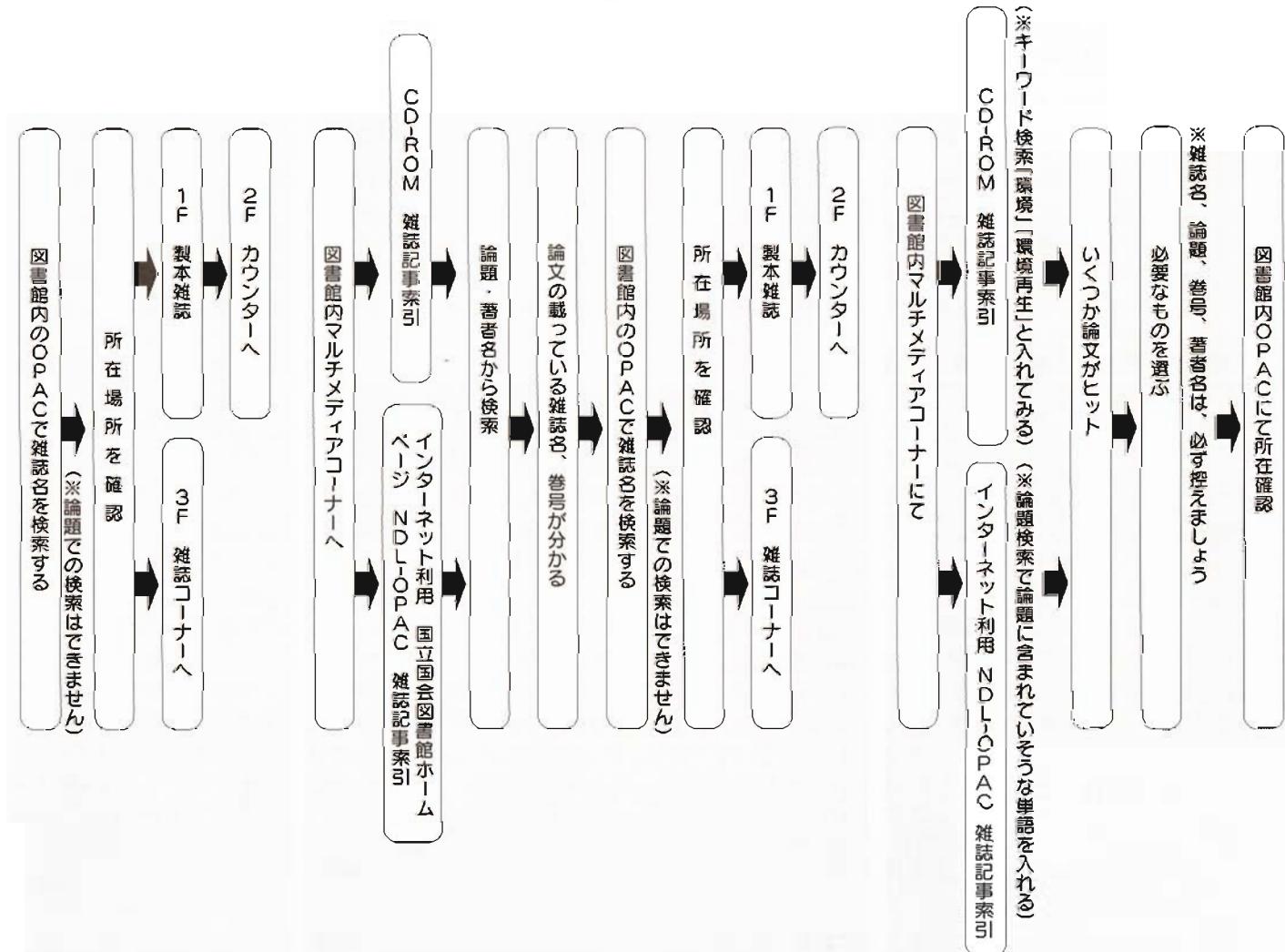
(Ⅲ) なにも分からぬ。

特定の雑誌を探しているわけではないが、環境再生についての論文を探している。

(Ⅰ) の場合の探し方

(Ⅱ) の場合の探し方

(Ⅲ) の場合の探し方



この他、雑誌コーナーで環境関係の雑誌に直接当たるか、また冊子体の索引の科学技術文献速報で探す方法もあります。

以上図書館での資料の探し方を簡単に説明しました。

必要な資料を探すのはなかなか時間がかかる事もありますが諦めずに根気よく探して下さい。

また、本学図書館に無い資料でも他大学から借りる事や複写をとる事も出来ます。

いつでも気軽に図書館員に相談して下さい。

平成16年度外国雑誌(購入分)中止リスト

請求記号	雑 誌 名	ISSN	2004年度購入金額
Z4-028	Applied Optics	00036935	¥457,097
Z5-229	Applied Physics Letters	00036951	¥475,593
Z4-048	Applied Surface Science	01694332	¥927,385
Z5-201	Computer Methods in Applied Mechanics & Engineering	00457825	¥1,131,827
Z5-185	Engineering Fracture Mechanics	00137944	¥586,593
Z5-190	Engineering Structures	01410296	¥303,059
Z5-194	International Journal of Fracture	03769429	¥572,208
Z5-049	International Journal of Mechanical Science	00207403	¥400,018
Z5-163	International Journal of Plasticity	07496419	¥307,377
Z5-265	Journal of Applied Mechanics and Technical Physics	00218944	¥442,314
Z5-150	Journal of Non-Crystalline Solids	00223093	¥1,127,533
Z4-030	Journal of Physics B:Atomic Molecular and Optical Physics	09534075	¥583,726
Z4-031	Journal of Physics G:Nuclear and Particle Physics	09543899	¥371,259
Z4-042	Physical Review Letters	00319007	¥530,746
Z4-014	Physical Review Ser.A,B,C,D,E,Index	10502947	¥2,255,386
Z5-214	Science Abstracts Series A,B&C Physics Abstracts	00368091	¥2,257,794
Z5-141	Solid State Communications	00381098	¥662,478
Z5-148	Solid State Electronics (including Materials in Semiconductor Processing)	00381101	¥461,191
			¥13,853,584

平成16年度外国雑誌新規購入リスト

請求記号	雑 誌 名	ISSN	2004年度購入金額
	Health economics		¥155,127
	Человек и труд		¥22,950
			¥178,077

(編) (集) (後) (記)

美しい紅葉がひらりと舞い、いつの間にか暖房の恋しい季節がやって参りました。そして、図書館が一年で最も利用者の多い季節・後期試験が始まります。この時期にありがちなのが、手荷物の忘れ物・落し物。また盗難も起こらないとは限りません。手荷物管理はしっかりと。

後期試験以外にも、卒業論文、修士論文等の締切の時期もあります。皆さんの御健闘を祈りつつ、益々の図書館サービス向上に努めて参ります。

ご多忙中、今号の執筆・編集にご協力頂きました方々に、厚く御礼申し上げます。

図書館だより No.13

発行日 平成15年12月31日
編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中垣内3丁目1-

Tel.072(875)3001(代表)
Fax.072(873)1664(直通)



この印刷物は、環境保護のため
エコマーク認定の再生紙を使用
しています。